



## <定点把握感染症>

疾患名	全国	山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県) 第1~24週
	第23週	第23週	第24週	増減	第23週	第24週	増減	第23週	第24週	増減	第23週	第24週	増減	第23週	第24週	増減	第23週	第24週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(45)			(10)			(10)			(4)			(9)			(12)			
インフルエンザ	5 0.00																			66
小児科定点 (定点医療機関数)		(29)			(6)			(7)			(3)			(6)			(7)			
RSウイルス感染症	8240 2.62	176 6.07	237 8.17	△	6 1.00	9 1.50	▲	31 4.43	42 6.00	△	2 0.67		▼	112 18.67	166 27.67	△	25 3.57	20 2.86	▼	1130
咽頭結膜熱	1251 0.40	21 0.72	8 0.28	▼	3 0.50		▼	2 0.29	2 0.29		1 0.33		▼	11 1.83	6 1.00	▼	4 0.57		▼	253
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1934 0.61	20 0.69	31 1.07	△	6 1.00	4 0.67	▼	5 0.71	11 1.57	△		1 0.33	△	8 1.33	10 1.67	△	1 0.14	5 0.71	△	857
感染性胃腸炎	10401 3.31	60 2.07	42 1.45	▼	17 2.83	13 2.17	▼	6 0.86	7 1.00	▲	3 1.00	1 0.33	▼	26 4.33	19 3.17	▼	8 1.14	2 0.29	▼	1794
水痘	385 0.12	5 0.17	10 0.34	▲	2 0.33	1 0.17	▼	1 0.14	6 0.86	△		1 0.33	△	2 0.33	1 0.17	▼		1 0.14	△	63
手足口病	343 0.11	5 0.17	6 0.21	▲	2 0.33	1 0.17	▼	3 0.43	5 0.71	▲										23
伝染性紅斑	61 0.02																			12
突発性発しん	1390 0.44	17 0.59	13 0.45	▼	2 0.33	2 0.33		4 0.57	3 0.43	▼	1 0.33	1 0.33		8 1.33	7 1.17	▼	2 0.29		▼	351
ヘルパンギーナ	359 0.11	5 0.17	8 0.28	▲				2 0.29	2 0.29					3 0.50	6 1.00	▲				25
流行性耳下腺炎	161 0.05	3 0.10	3 0.10		1 0.17	1 0.17		1 0.14		▼		1 0.33	△				1 0.14	1 0.14		30
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	-																			0
流行性角結膜炎	141 0.20	4 0.50	3 0.38	▼	3 3.00	2 2.00	▼				1 1.00	1 1.00								27
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2 0.00																			1
クラミジア肺炎																				0
マイコプラズマ肺炎	12 0.03		1 0.10	△		1 0.50	△													4
細菌性髄膜炎	5 0.01																			2
無菌性髄膜炎	7 0.01																			0

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

## <全数把握感染症>

疾患名	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核	1		2		2	
つつが虫病					1	
梅毒	1					

## <通信欄>

### ※新型コロナウイルス感染症情報について

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムの運用開始に伴い、新型コロナウイルス感染症は週報の対象外となりました。  
山形県の新型コロナウイルス感染症に関する情報は、右記の「新型コロナウイルス感染症に関連するポータルサイト」をご覧ください。(QRコードを読みとるかPDFファイル上でクリックしてアクセスしてください。)



### ※警報・注意報の基準値

疾患名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。  
※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数  
※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									0
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	7	33	74	67	29	12	8	2				1		4	237
咽頭結膜熱		3	2		2	1									8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2	5	4	4	5	4	1	4		1	1		31
感染性胃腸炎		4	2	8	6	2	2	2	3	2	2	9			42
水痘		1	3			1		1	2	1	1				10
手足口病			3			2						1			6
伝染性紅斑															0
突発性発しん		3	9	1											13
ヘルパンギーナ		1	4	1	1	1									8
流行性耳下腺炎				1		1		1							3

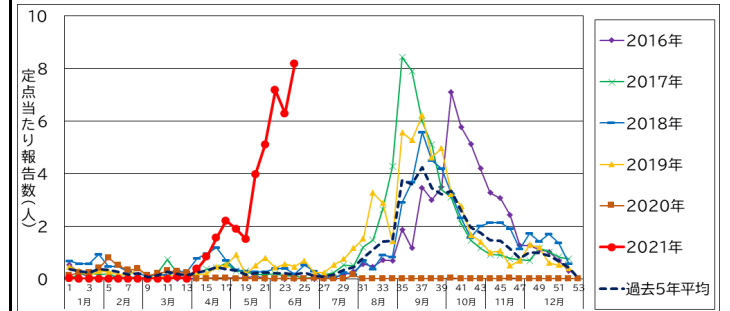
<トピックス>

RSウイルス感染症 情報

第24週の山形県のRSウイルス感染症定点当たり報告数は8.17人で、過去5年で2番目に多い数となりました。置賜地区で報告が多く、定点当たり報告数は27.67人となっています。

※管轄保健所別のグラフは別紙(3ページ)に掲載しています。

<過去5年のRSウイルス感染症 定点当たり報告数(山形県)>



< 令和 3年 5月 月報 >

2021年6月16日 発行

疾患名	山形県		山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県)	
	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月		
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	10	14	5	4		1	1	2	1	2	3	5	69
	定点当り	1.00	1.40	1.67	1.33		1.00	1.00	2.00	0.50	1.00	1.00	1.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	8	6	2	1			1	1	3	3	2	1	41
	定点当り	0.80	0.60	0.67	0.33			1.00	1.00	1.50	1.50	0.67	0.33	
尖圭コンジローマ	報告数	1	2	1							1		1	5
	定点当り	0.10	0.20	0.33							0.50		0.33	
淋菌感染症	報告数	4	3	3							1	1	2	11
	定点当り	0.40	0.30	1.00							0.50	0.33	0.67	
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	4	7	2	1				1		1	2	4	19
	定点当り	0.40	0.70	1.00	0.50				1.00		0.50	0.67	1.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	24	15	4	1	1	1			1		18	13	91
	定点当り	2.40	1.50	2.00	0.50	0.50				0.50		6.00	4.33	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													0
	定点当り													

<RSウイルス感染症について>

●RSウイルス感染症ってどんな病気？

RSウイルス感染症は、RSウイルスに感染することによって起こる呼吸器感染症です。2歳までにほぼ全ての人が感染し、生涯で何度も感染を繰り返すとされています。

RSウイルスに感染すると、咳や発熱、鼻水などの風邪のような症状が数日続きます。潜伏期間は、約4～6日です。

多くの場合軽い症状で済みますが、まれに細気管支炎や肺炎を併発して、症状が重くなる場合もあります。特に初めて感染した場合は症状が重くなりやすく、新生児や生後数ヶ月以内の乳児は注意が必要です。

●予防するにはどうすればいい？

感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染、ウイルスがついている物を介しての接触感染があります。予防法としては、手洗いの励行、マスクの着用、ウイルスの付いている物の消毒が有効です。



※RSウイルス感染症に関する情報は、下記のアドレスから参照できます。

©RSウイルス感染症に関するQ&A(厚生労働省HP)

[https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs\\_qa.html](https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html)